



## 一覧表

|                       |     |
|-----------------------|-----|
| 第4回大気化学討論会のお知らせ ..... | 118 |
| 助手公募 .....            | 131 |
| 教官公募 .....            | 152 |

**編集後記：** 昨年の12月はじめに東京大学気候システム研究センターの新田勲教授がお亡くなりになられました。私が言うまでもなく、数々の業績を残され、気象学の発展に貢献された新田教授でしたが、私にとっては大学4年のときに卒業論文を担当していただいた本当に得難い師匠でもありました。そのお人柄通り、いつも優しくそして丁寧に教えていただき、卒業後も学会などでお会いすると優しく声をかけていただきました。これからもまだまだご活躍なされたいと思うと残念でしかたありません。謹しんでご冥福をお祈りします。

話は変わりますが、私は編集委員会内では事務局ということで、5か月に1度、1号分の校正を担当しています。現在、「天気」の校正は、編集委員の事務局担当の5人と関口書記、新野編集委員、そして原稿を書いてくださった著者で行っています。なかでも関口書記と事務局の5人は全ページを校正します。「天気」は1ページあたり約1500~2000字で、1号あたり約75ページありますから、担当の月には約11~15万字見る

ことになります。自分でも計算して驚きましたが、この数字はかなりの量だと思います。間違いが無く、読みやすい紙面になるよう努力していますが、これだけの量ですから、投稿していただく皆様のご協力が不可欠になってきます。今年の1月から、引用文献の書式など、投稿規定の一部に変更がありましたので、投稿の際にはぜひ規定と合っているかどうか確認していただきますようお願いいたします。

また、今までの経験上、最初の校正の段階では、数式や引用文献に間違いがあることが多くあります。特に数式については、印刷業者は科学の専門家ではありませんから、ギリシャ文字やベクトル、積分の表記などで間違ってしまうことが多くあります。著者の皆様も、著者校正でこのあたりを丁寧に見ていただけると、校正担当としては非常に助かります。

このところ訂正記事が多く、大変申し訳ありませんが、よりよい「天気」をめざして努力していきますので、どうかご協力お願いします。 (水野孝則)